

停電運転時取扱説明書

ヤンマー

CP-1 表面



- ①電源ランプ
(通電時点灯)
- ②空調機リモコン
- ③ON/OFFキー
※使用時ON。
ON時にキーは抜けない。
OFF時にキーが抜る。
- ※扉 キー200番

CP-1 盤内



- ④ON/OFFコントローラー
(通常時使用しません。)
- ⑤ブレーカー
(通常時使用しません。)
- ⑥リレー
(通常時使用しません。)
- ⑦自立運転スイッチ
※停電時以外使用しません。

自立運転スイッチ



- ⑧室外機故障ランプ (3号機、4号機は使用しません。)
- ⑨室外機運転ランプ (3号機、4号機は使用しません。)
- ⑩自立運転操作SW (開始、解除)
- ⑪自立電源ランプ

操作方法

1.停電が発生した際、CP-1表面の①電源ランプ点灯を確認して下さい。（消灯なら扉を開けて下さい。）

2.停電が発生した際に、空調・電源供給を開始する場合、⑩自立運転操作SWを開始側に倒して下さい。

⑩操作スイッチを開始側に倒すと⑪自立電源ランプが点灯し約1分後に給電を開始します。

室外機が起動すると⑨室外機運転ランプが点灯します。

空調を行う場合は、CP-1表面の②室内機リモコン液晶が点灯した後に室内機リモコンの運転等の

操作が可能になります。（液晶点灯に10分程度掛かります。）

3.自立運転を停止する場合、復電時自動供給停止を無効に設定している場合は⑩操作スイッチを

解除側に倒しと自立運転を停止しバッテリー給電を停止します。

復電時自動停止を有効にしている場合は復電時に自動で自立運転を停止します。

4.自立運転中に異常が発生すると⑧故障ランプが点灯します。

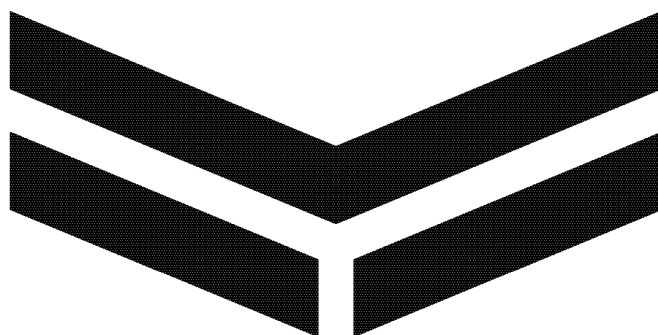
空調機リモコンのエラーコードを確認して下さい。

運転可能なエラーコードなら⑩操作SWを解除側に倒して再度10秒以上後に開始側に倒して

再運転を行って下さい。（間隔短いと異常をクリアできないことがあります。）

その後も異常が繰り返す場合は、販売店に相談して下さい。

※ガスの供給が無い場合は、空調機運転は不可能になります。



取扱説明書

ヤンマーガスヒートポンプ
エアコン

GHP-L1

YBZP560L1

YANMAR

このたびは ヤママーGHP をお買い上げいただき ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は**ヤママーガスヒートポンプエアコン**（以下**ヤママーGHP**と称します）の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は主にヤママーガスヒートポンプの室外機に関する内容について記載してありますので、室内機およびリモコンなどのオプション機器に付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、いつでも読むことができるように保管してください。
- この取扱説明書を紛失または破損された場合は、速やかにお買い上げの販売店にご注文ください。
ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お気軽にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 品質および性能などの向上あるいは安全上の事情で使用部品の変更を行うことがあります。
その際は、この取扱説明書の内容の一部が本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- この取扱説明書のほかに別冊で「保証書」を添付しておりますので、あわせてお読みください。
- 当社製品および関係技術資料を輸出もしくは非居住者に提供する、または海外で技術提供をする場合、安全保障貿易管理に関する日本および関係各国の関連法規制を受ける場合があります。
確認のうえ、必要な手続きを実施してください。

もくじ

本誌に記載されている記号について	2
1 安全にお使いいただくために	3
①お使いになる前のご注意	4
②運転中のご注意	6
③こんなときはお買い求めの販売店にご連絡ください	8
2 各部の名称とはたらき	11
①室外機	12
3 快適にお使いいただくために	13
①使用範囲	14
②日常のお手入れ	16
③シーズン始め・終わりのお手入れ	17
④故障かな？と思ったら	18
⑤定期メンテナンスについて	23
⑥安全銘板と取付位置	24
4 仕 様	27
①室外機の仕様	28
②製品保安上の明細	29
5 停電・復電時の運転操作	31
①停電・復電時の運転操作について	32
6 自立負荷の選定	35
①自立負荷の選定について	36

安全にお使い
いただくために

各部の名称と
はたらき

快適にお使い
いただくために

仕
様


停電・復電時の
運転操作

自立負荷の選定

本誌に記載されている記号について

本製品を安全にご使用いただくために、この取扱説明書にはつぎの記号を使用しています。
よく読んで内容をお確かめの上お使いください。

図記号の意味

 印は安全上、特に重要な部分でありますので必ず守ってください。



警告事項を守らない場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。



安全な取り扱いに対する助言、あるいは適切な注意を守らなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。



「してはいけないこと」を説明しています。



「必ずしていただきたいこと」を説明しています。



「必ずしていただきたいこと」で具体的な内容（左図は「必ずアース線を接続してください」）を図示しています。

1















安全にお使いいただくために











- ①お使いになる前のご注意……………4
- ②運転中のご注意……………6
- ③こんなときはお買い求めの販売店にご連絡ください……………8

① お使いになる前のご注意

⚠ 警告

安全にお使い
いただくために

-  ● 据え付けはお客さま自身で行わず、販売店または専門の業者に依頼してください。
● ご自分で据え付け工事をされ不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒、水漏れや感電、火災などの原因となります。
-  ● 室外機の排気ドレンホースと室内機のドレンホース出口を同一にしないでください。
● 排水溝などを通じ、排気ガスが室内に逆流し排気ガスによる中毒のおそれがあります。正しく処理されていない場合は、お買い求めの販売店に連絡してください。
-  ● 室外機の吸気口、排気出口や排気ドレン口をふさがないでください。ふさがっている場合は取り除いてください。
● 燃焼不良による一酸化炭素中毒の原因になります。
-  ● 小部屋へ据え付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を越えないように対策してください。限界濃度を越えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。
● 万一冷媒が室内に漏れた場合、その濃度が許容値を超えるような小部屋では窒息などの危険があり、許容値を超えない対策が必要です。
詳細は技術資料、JRA GL-13：2012 (<http://www.jraia.or.jp/index.html>) をご覧ください。
-  ● 室内機や室外機の空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないでください。
● 内部でファンが高速回転しており、けがの原因になります。
-  ● 室外機の排気出口に触れないでください。
● やけどの原因になることがあります。
-  ● 長時間冷風や温風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎや暖め過ぎたりしないようにしてください。
● 体調悪化、健康障害の原因になります。
-  ● 室外機の排気ガスが建物内に入らないように注意してください。
● 排気ガスが、建物内に入ると、中毒などの原因になります。
-  ● 室外機に表示されている燃料ガス種と使用ガス種が適合していることを確認してください。
● ガス種が異なると、燃焼不良による一酸化炭素中毒の原因になります。
-  ● 電気配線は、専用の分岐回路を用い、他の電気機器を併用していないことを確認してください。
● 併用した場合、ブレーカー落ちによる2次被害の原因になります。
-  ● 室外機は屋内または半屋内設置は絶対にしないでください。
● 排気ガスが拡散しにくい設置環境の場合、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
-  ● 可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのおそれのあるところ、揮発性引火物を取り扱うところに室外機、室内機が設置されていないことを確認してください。
● 可燃物や引火性ガスへの引火による火災の原因になることがあります。
-  ● 室内機ドレンの配管は、確実に排水するように施工することが必要です。確認してください。
● 配管工事に不備があると、水漏れし、家財などをぬらす原因になることがあります。
-  ● アース工事が必要です。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続してはいけません。ご確認ください。
● アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

- | | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 室外機ごとに漏電ブレーカーの取り付けが必要です。ご確認ください。 ● 漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源供給は専用回線を設け開閉器は正しい容量の物をお使いください。もし、ヒューズをご使用の場合は、正しい容量のヒューズをご使用ください。 ● ヒューズのかわりに針金や銅線などを使用しますと故障や火災の原因になります。お分かりになりにくい場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内機の空気吸入口や吹出口を障害物でふさいだり、物を吊り下げたりしないでください。 ● 能力の低下や、正常な運転ができなくなります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 室外機の近くに電波を受信する機器（ラジオ・テレビ・室内アンテナなど）を置かないでください。 ● 雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。室外機から影響される距離は、電波の受信状態により異なります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 食品・動植物・精密機械・美術品などの保存など特殊用途には使用しないでください。 ● 品質低下などの原因になることがあります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 別売品は必ず当社指定の製品をご使用ください。また、取り付けは専門業者にご依頼ください。 ● 当社指定以外のものを使用したり、ご自分で取り付けされたりし不備があると感電、火災および水漏れの原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 本機械はR410A冷媒専用機として設計・製造が行われています。 ● 封入されているR410A冷媒と種類が異なる冷媒を使用することは機械的不具合・誤動作・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらす原因になりますので、R410A冷媒以外を封入することは絶対に行わないでください。 ● 封入冷媒の種類については、機械銘板に記載されています。 ● R410A以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、弊社は一切その責任を負いません。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 据付後は、速やかに電源をいれてください。 ● バッテリーの寿命低下を招き交換時期を早める恐れがあります。 ● 停電時に室外機が起動できない原因になります。 ● ご使用になるまでは、ガス栓を開かないようにしてください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 本製品は、停電時空調およびTV、照明、携帯充電機等に使用する目的に設計・製造されています。また、本製品は自立運転時に停電が解消した場合、自動的に運転を停止します。 ※「復電時自動停止」の設定が有効（ON）の場合 ● 生命や財産が損害を受ける恐れがある電気機器は接続しないでください。 ● 接続できる機器については、36ページの「接続できる電気機器」をご参照ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーは定期交換部品です。 ● 4年毎に交換してください。また、使用環境状況により交換周期が短くなることがあります。 |

② 運転中のご注意

⚠ 注意

安全にお使い
いただくために



- 室外機のカバーは絶対に取り外さないでください。
- 内部には回転部、高温部、高電圧部があり、けがの原因になることがあります。
- 室外機の吹出口のファンガードを絶対に取り外さないでください。
また、ファンに指や棒を絶対に入れないでください。
- 内部でファンが高速回転しており、けがの原因となる場合があります。



- 室内で燃焼機器と室内機と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
- 換気が不十分な場合、酸素不足の原因になることがあります。



- 室内機の風が直接当たるところに燃焼器具を置かないでください。
- 燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



- 室外機の上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。
- 落下転倒などによりけがの原因になることがあります。



- 室外機の吹き出し風や排気ガスを直接、動植物に当てないでください。
- 動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



- ヘアスプレー、ラッカー、ペイントなどの可燃性スプレーを運転中の室内機の近くで使用しないでください。
- 電気機器が内蔵しており引火するおそれがあります。



- 停止の場合、電源を切って停止させないでください
- 室内機のリモコンで停止させてください。



- ぬれた手でスイッチを操作しないでください。
- 感電の原因になることがあります。



- 火災が発生した場合は、ただちにエアコンの元電源を切ってください。
- 感電の原因になります。



- 運転を停止して再び運転した場合や、冷房、暖房など運転モードの切り替えをした場合は、機器の保護のため再運転までに約5分かかります。



●室外機および室内機は、機器の保護、性能維持のため、自動で一時的に運転を停止したり、運転を開始、継続したりする場合があります。

また、室内機からの風が止まったり、暖房時に冷風が出たり、冷房時に温風が出る場合もあります。

これらは、ご使用環境や状態により異なりますが、約10～15分を目安に自動で元に戻ります。



●室外機が定期点検時期を過ぎても運転は可能ですが、継続して運転した場合は機器の保護のため一定時間ごとに能力をセーブして運転します。

定期点検時期には、販売店に連絡して定期点検を受けてください。



●室外機および室内機は、機器の保護、性能維持のため、停止中であっても自動で一時的に運転を開始したり、停止したりしても一定時間運転を継続する場合がありますので注意してください。

フィルター清掃時など室内機や室外機に触れる場合は、元電源を切ってください。



●室外機やリモコンに異常コードが表示されたときは、運転を停止しお買い上げの販売店に連絡してください。

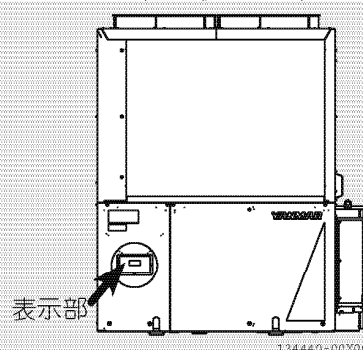
③ こんなときは買い求めの販売店にご連絡ください

警告

安全にお使い
いただくために

- 異常時（こげ臭い、異常音、異常振動がするときなど）は、リモコンで運転を停止してエアコンの元電源を切り、販売店などにご連絡ください。
- 異常のまま運転を続けると、故障や感電、火災などの原因になります。
- 室外機の燃料ガスが漏れているときは、すぐにガスの元栓を止めて、販売店などにご連絡ください。
- 漏れたままにしておくと、火災や爆発などの原因になります。
- 冷媒ガスが漏れているときは、エアコンを止め、部屋の換気をよくし、ガスコンロなどの火気の使用を中止し、販売店などにご連絡ください。
- 漏れたままにしておくと、酸欠事故の原因になります。
- 冷媒ガスが炎や火花に触れると有毒なガスが発生します。
- 室外機・室内機をお客さま自身で修理したり、改造したりしないでください。修理は、販売店にご相談ください。
- 修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 据付台が傷んでいたり、取付金具（ボルト・ナット）が外れていると室外機が落下したり転倒してけがをする危険があります。販売店にご連絡ください。
- エアコンを移設再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
- 据え付けに不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒や水漏れ、感電、火災などの原因になります。
- エアコンは定期的なメンテナンスの実施により13年または運転時間が30,000時間までのご使用を前提に作られています。13年または30,000時間を超えてのご使用は、使用の仕方によっては重大事故につながるおそれがあります。13年または30,000時間を超えてご使用になる場合は、販売店にご相談ください。
- 弊社、オプションの自立操作盤（AOB560J、AOB560L）をご使用の場合は、自立運転中に室外機に異常が発生すると故障ランプが点灯します。
故障ランプが点灯した室外機の表示部に表示されている、異常コードを確認してください。再起動可能な異常コードの場合、以下の手順で異常解除、再運転を行ってください。
※異常コードについては、P20を参照してください。

- ① 停電時にご使用になる電気機器を減らしてください。
 - ② 自立操作盤でリセット操作を行い、再度運転を行ってください。
- リセット操作については、自立操作盤に貼り付けされている操作説明に従ってください。
- 再度運転を行っても異常コード表示を繰り返す場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

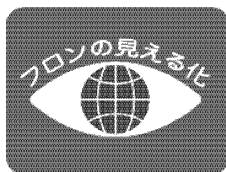


⚠ 注意

- ❗ ● 室外機からオイルや冷却水が漏れているときは、販売店に連絡ください。
- 漏れたままにしておくと、室外機の故障や室外機周辺にある物（防水シートなど）の損傷、破損の原因になります。
- ❗ ● 安全装置がたびたび作動する場合や、運転スイッチの作動が確実でない場合は、ただちに元電源を切って販売店などにご連絡ください。
- 漏電または過電流の可能性があるため、感電、火災および破裂の原因になります。
- ❗ ● 定期点検を必ず実施してください。定期点検の時期、内容については販売店などにご相談ください。
- 定期点検を実施しないと室外機のエンジンの故障などに繋がります。

安全にお使い
いただくために

法令に関する注意



- 本製品は、フロン排出抑制法の第一種特定製品です。
- (1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- (2) この製品を廃棄・整備する場合には、都道府県に登録された第一種フロン類充てん回収業者によるフロン類の回収が必要ですのでお買い上げの販売店・専門業者にご相談ください。
- (3) フロン類の種類および数量は製品に貼り付けの形式銘板に記載されています。
- (4) 現地冷媒充てん後には、総冷媒量＝（出荷時冷媒量＋現地追加充てん量）を製品貼付のラベル（防火評定）に必ず記載してください。
- ※ 室内機の説明書、銘板に記載の数量とは異なる場合があります。

種類	冷媒番号	GWP	総冷媒量 (kg)
HFC	R410A	2090	ラベル（防火評定）に記載 ※1

※ 1. 3章の「⑥安全銘板と取付位置」を参照してください。

- (5) フロン類の未回収の機器を引き渡してはいけません。
- (6) フロン排出抑制法に基づく点検については、3章の「⑤定期メンテナンスについて」を参照してください。

MEMO

2

各部の名称とはたらき

①室外機.....	12
-----------	----

① 室外機

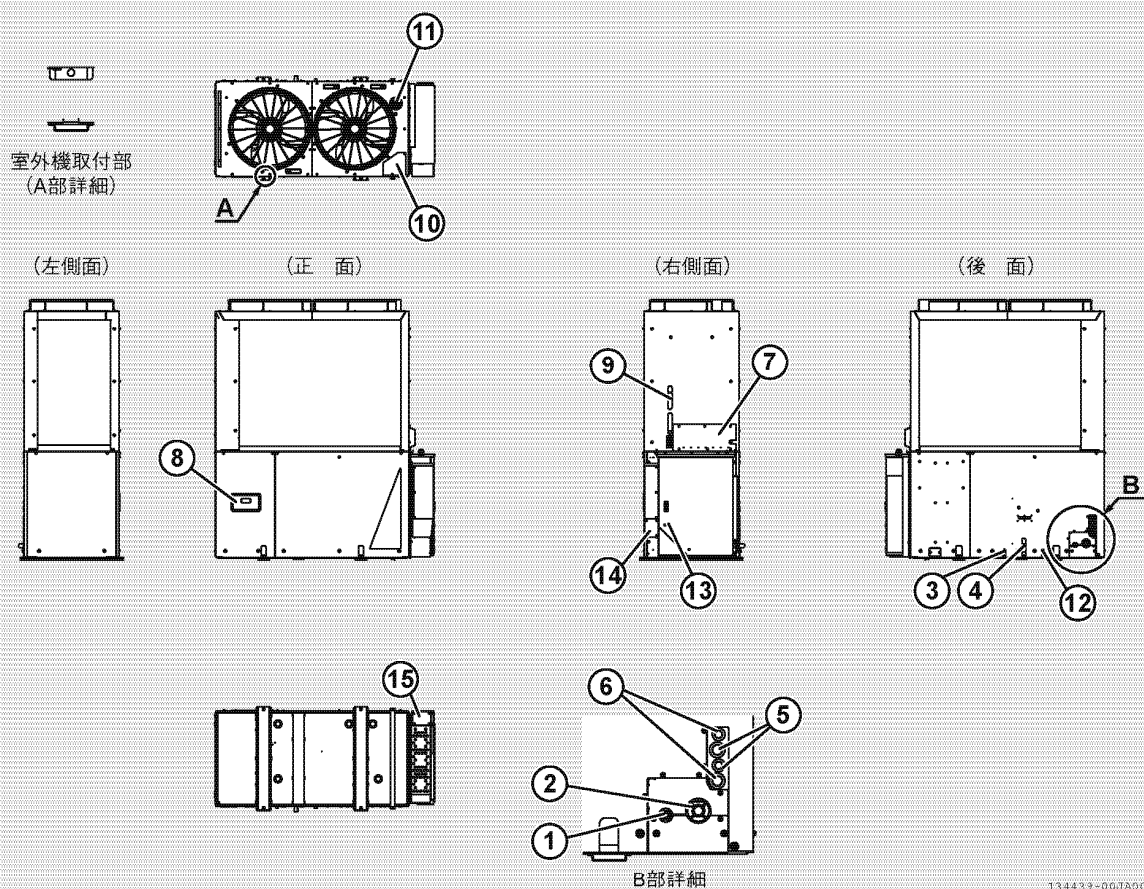
- | | | | |
|-------------|----------------|---------------|-------------|
| ① 冷媒液側配管接続口 | ② 冷媒ガス側配管接続口 | ③ 排気ドレン接続口 | ④ 燃料ガス配管接続口 |
| ⑤ 電気配線穴 | ⑥ オプション配線用ノック穴 | ⑦ 吸気口 | ⑧ アワーメーター |
| ⑨ 冷却水タンクレベル | ⑩ 冷却水注入口用ふたA | ⑪ 排気出口 | ⑫ 凝縮水ドレン口 |
| ⑬ バッテリーボックス | ⑭ 自立用配線取出位置A※ | ⑮ 自立用配線取出位置B※ | |

※本取り出し位置は、A・Bそれぞれに160×118×1.2mmの板が1枚ずつあります。

現地配線状況に応じて、現地加工をしてください。

● YBZP560L1 形

各部の名称と
はたらき



134433-00JA00

3

快適にお使いいただくために

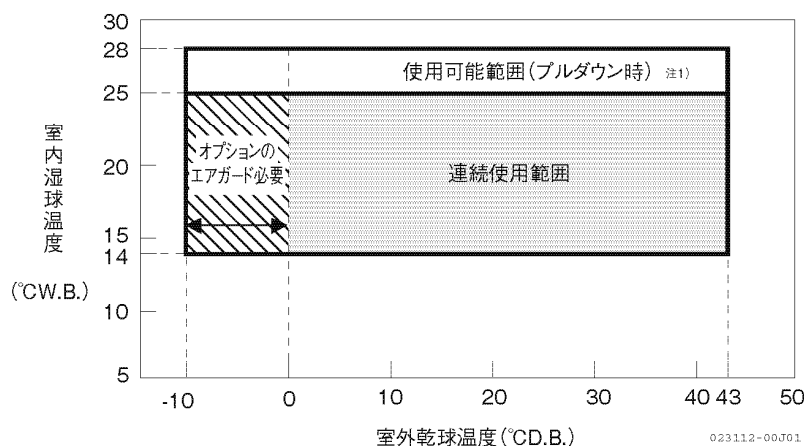
- ①使用範囲・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ②日常のお手入れ・・・・・・・・・・・・ 16
- ③シーズン始め・終わりのお手入れ・・・・・・・・ 17
- ④故障かな？と思ったら・・・・・・・・ 18
- ⑤定期メンテナンスについて・・・・・・・・ 23
- ⑥安全銘板と取付位置・・・・・・・・ 24

①使用範囲

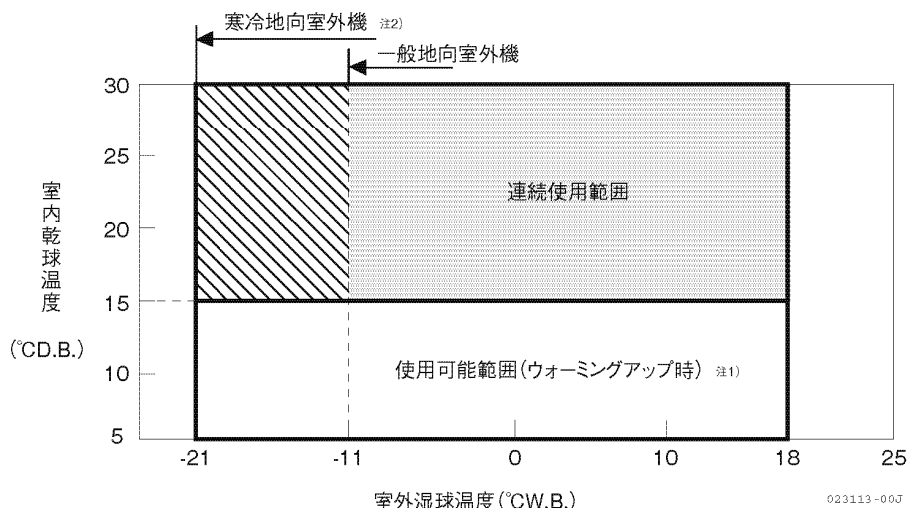
■つぎの範囲でお使いください

ヤンマーガスヒーポンの機能を十分に発揮させ、快適にご使用いただくために、つぎのことをお守りください。
条件の範囲外で運転しますと、保護装置が働き正常運転不能や、機器に不具合が生じる場合があります。

●冷房使用範囲



●暖房使用範囲



快適にお使い
いただくために

冷房 運転	室内温度・湿度	20～30℃ D.B.・80%以下 (ブルダウン時30～34℃ D.B.も使用可能)
	室外機吸込温度	0～43℃ D.B. (オプションのエアガード搭載時 -10～43℃ D.B.)
暖房 運転	室内温度	15～30℃ D.B.
	室外機吸込温度	一般地向機種：-10～35℃ D.B. 寒冷地仕様機：-20～35℃ D.B. 注2) (26～35℃ D.B.では運転状況により一部制限あり)

※上表と上グラフを組み合わせた範囲が使用可能範囲となります。

※外気温度が冷房：0℃ D.B. (オプションのエアガード搭載時は-10℃ D.B.) 以下、暖房：35℃ D.B. 以上の場合、運転制限により冷暖房運転できません。(外気温度は室外機内外気センサー検知の値です。)

※接続する室内機(外気処理エアコン等)によっては、上記と異なる場合があります。

※外気温度が冷房0℃以下の運転の場合、エアガードを装着および機器設定が必要となりますので販売店にご相談ください。

※冷暖同時機冷暖混在運転の場合、運転状況によっては室外温度が26℃以上では、暖房室内機がサーモOFF、室外温度が-10℃以下では、冷房室内機がサーモOFFとなる場合があります。

注1) ブルダウン：冷房運転立上り時から、連続使用範囲に入るまでの運転をいいます。

ウォーミングアップ：暖房運転立上り時から、連続使用範囲に入るまでの運転をいいます。

注2) 外気温度が-10℃ D.B. (-11℃ W.B.)、または、日中の最高気温が0℃を下回る日がある地域で採用してください。

■室内温度は適温に

温度調節は冷やし過ぎや暖め過ぎないように注意してください。

■フィルターの掃除はこまめに清掃してください。

リモコンに「フィルタ洗浄」が表示されたら清掃してください。

エアフィルターにごみやほこりがたまると、風量が減って冷房や暖房効果が減少したり、機械が汚れたりして故障のもとになります。

■窓やドアは閉めて

お部屋の窓やドアは閉めてください。

窓や扉を開けたままにしますと室内の空気が外へ逃げるため冷房および暖房効果が悪くなります。

■長時間運転ではときどき換気を

長時間運転される場合は、ときどき窓を開けて換気をしてください。

なお、扉や窓を開放したままでご使用にならないでください。吹出部などに露が付くことがあります。

■外気熱の影響を少なく

冷房中、直射日光の当たる窓はカーテンやブラインドで日光をさえぎってください。

■室内空気を循環させて

暖房のとき、温風が天井にこもり足元が寒いことがあります。そのときは、サーキュレータを別途取り付けて室内空気の循環をよくすると、足元が暖くなり暖房効果が上がります。

■手入れ用洗剤にはご注意を

ベンジン・シンナー・みがき粉などは、塗装面やプラスチックを傷めます。

40℃以上のお湯も使わないでください。フィルターが縮んだり、プラスチックが変形したりすることがあります。

■吹出口・吸込口はふさがらないで

室内・室外機の吹出口や吸込口を、カーテンや他の障害物でふさがらないでください。

性能が低下するばかりか、故障の原因になります。

② 日常のお手入れ

お手入れをする前に必ず守ってください。

⚠ 注意

- 室外機および室内機を水やスプレー式の洗剤をかけて清掃しないでください。
電気ショートによる火災や感電の原因になることがあります。清掃されるときは、電気部およびコネクター部を必ず養生し、水がかからない様ご注意ください。
- 必ず電源を切ってください。
運転中にお手入れや点検をすると感電やけがをするおそれがあります。
- 足場に気を付けてください。
高所作業となりますので作業台が転倒しないように注意し、フィルター等を落としたり、目にほこり等が入ったりしないように注意して作業してください。
- 清掃時は保護用手袋を着用してください。
けがの原因となることがあります。
- 清掃時以外は、室内機のエアフィルターを外さないでください。
故障の原因となります。

快適に
いただく
ために

■ エアフィルターの清掃の仕方

● エアフィルターの清掃

室内機の取扱説明書を参照して清掃してください。
リモコンに「フィルタ洗浄」や「フィルタ」が表示されたら、清掃してください。

汚れのひどいところでご使用になる場合は清掃の頻度を多くしてください。

● エアフィルター清掃後は、必ず取り付けて運転してください。

取り付けないと内部にほこりが付着して、機械が故障する原因となります。

③ シーズン始め・終わりのお手入れ

シ
ー
ズ
ン
始
め
・
終
わ
り
の
お
手
入
れ

⚠ 警告

● 室外機の吸気口、排気出口や排気ドレン口をふさがないでください。
ふさがっている場合は、取り除いてください。
燃焼不良による一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠ 注意

● アース線が外れていませんか？ 途中で断線していませんか？
万一の場合感電しないために重要です。
異常がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 一年をととして、室外機の電源を切らないでください。
バッテリーが放電し、停電時に起動できないおそれがあります。
- 運転開始の6時間以上前に元電源を入れてください。
(上記を怠ると、コンプレッサー破損の原因となります。)
- 長期間ご使用にならないときは、万一のガス漏れ防止のためガス元栓を閉じておいてください。
- 長期間ご使用にならないで、運転を開始するときに、室内機に付着したほこりが吹き出る場合がありますので、運転開始時は吹き出しグリルに顔を近づけないでください。
- 室内機の吸込口をふさいでいませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。能力低下や正常な運転ができなくなります。
- エアフィルターや吹き出しグリルを清掃してください。
清掃後、必ず元の位置に取り付けてください。
- 運転を開始するときは、ガス元栓を開けてください。
(ガスの元栓を閉じた状態で、リモコンをONした場合、スターターおよび始動トランスを破損する原因となります。)

快適にお使い
いただくために

④故障かな？と思ったら

■ サービスを依頼する前につぎのことをお調べください

運転しない	①専用ブレーカーがOFFになっていませんか？
	②リモコンが電池切れになっていませんか？
	③ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
	④ガス元栓が閉まっていませんか？

よく冷えない よく暖まらない	①エアフィルターにほこりが詰まってませんか？
	②設定室温のセットは適正になっていませんか？
	③上下風向板は正しい位置になっていませんか？
	④室内・室外機の吹出口や吸込口を障害物などでふさいでいませんか？
	⑤風量が「弱」になっていませんか？
	⑥窓や扉が開いていませんか？
	⑦（冷房時）直射日光が入っていませんか？
	⑧（冷房時）在室人員が多すぎませんか？
	⑨（冷房時）室内に熱源が多すぎませんか？
	⑩定期メンテナンスの時期が近づいていませんか？

運転中に停止する	①室内・室外機の吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
	②エアフィルターが目詰まりしていませんか？

停電時に運転しない	①自立操作盤の自立SWをONにしましたか？
	②自立操作盤の自立電源ランプは点灯していますか？
	③自立操作盤の異常ランプは点灯していませんか？
	④ガスメーターは、遮断していませんか？
	⑤ご使用できない電気機器を接続していませんか？接続容量は合っていますか？ （自立負荷の選定については36ページ参照）

快適にお使いに
いただくために

■ つぎの場合は故障ではありません

「シュルシュル」「シャー」 「ポコポコ」「ブシュ」という音	冷媒が室内機内のパイプの中を流れる音と、流れの方向を切り替えるときの弁の音です。
「キシキシ」という音	温度変化で室内機自体が膨張・収縮する音です。
「バサバサ」という音	運転開始時など、室内ファンの回転数が変わるためです。
運転音が変わる	室温の変化に応じて、室外機のエンジンが回転数を変更するためです。
霧が出る（冷房時）	室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。
室外機から湯気が立つ	排気ガスの水蒸気のためです。
においがする	室内の空気に含まれているタバコ・化粧品・食品などいろいろなにおいがエアコンに付着し、これが吹き出すためです。（※1）
運転しない （停止後すぐに再運転したとき）	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。機械に無理がかからないよう安全装置が働いているためです。5分後に自動的に運転を開始します。
運転停止後も動いている	機器の保護、性能維持のため、運転停止後も運転を継続する場合があります。これは、ご使用環境や状態により異なりますが、約10～15分を目安に自動で停止します。
運転しない（電源を入れた直後）	運転準備のためです。約30分待ってください。
霧が出る（暖房時）	熱い冷媒が室内機に流れ込み湯気が発生するためです。
霧が出る（油分やほこりの多い場所）	室内機内部の汚れがひどい場合に、温度むらが生じるためです。（※1）
ほこりが出る	室内機内部に付着したほこりが吹き出るためです。
暖房運転中に室外機の熱交換器に霜が付く。	気象条件により霜が付くことがあります。 異常ではありません。
暖房運転中に室内機から一時的に風が出ないときや一時的に風が弱くなるときがある。	室外機が除霜運転をしているためです。 異常ではありません。
定期点検時期のお知らせが表示される。 Dタイプ室外機アフメータ：L8表示 室内機リモコン：L8表示 Hタイプ室外機アフメータ：37表示 室内機リモコン：点検表示が点滅（※2）	定期点検時期をお知らせする表示で、異常ではありません。 運転時間が定期点検時間（P.23参照）になりますとセーブ運転に入ります。応急運転が必要な場合は、リモコンでリセットしてください。ただし、一定時間ごとにセーブ運転に入ります。 お買い求めの販売店に連絡して、定期点検を受けてください。 定期点検をされない場合は重大な故障に至る可能性があります。

（※1） 室内機内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですので販売店にご相談ください。

（※2） 異常時にも点検表示が点滅する場合があります。詳細はP.20の異常コード表を参照ください。

快適に
お使い
いた
だく
ため
に

④故障かな？と思ったら（つづき）

■ こんなときはすぐ販売店へ！

下記のような現象が出たときは、ただちに元電源を切って、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。

室内機の「運転ランプ」が点滅したり、リモコンや室外機に異常コードが表示されたりしたときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 運転中に万一異常がおきたときは、リモコンの「運転ランプ」「点検表示」が点滅し、リモコンおよび室外機の「アフメータ」（運転時間表示）部に異常コードが表示され、異常内容によっては機器が停止します。専門のサービスマンによる点検と修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご連絡ください。異常コードと異常内容は下表を参照してください。

■ 異常コード表

異常内容	室外機		リモコン					
	Dタイプ	Hタイプ	Dタイプ			Hタイプ		
				運転ランプ	点検表示		運転ランプ	点検表示
エンジン起動不良/燃料ガス種設定異常	E0	04	E0	点滅	点滅	04	点滅	消灯
エンジン過回転	E1	06	E1	点滅	点滅	06	点滅	消灯
エンスト	E2	07	E2	点滅	点滅	07	点滅	消灯
油圧低下異常	E3	08	E3	点滅	点滅	08	点滅	消灯
冷却水温度異常	E4	42	E4	点滅	点滅	42	点滅	消灯
吐出温度異常	E6	43	E6	点滅	点滅	43	点滅	消灯
高圧異常	E7	40	E7	点滅	点滅	40	点滅	消灯
低圧異常	E9	41	E9	点滅	点滅	41	点滅	消灯
EEPROM異常	EA	3A	EA	点滅	点滅	3A	点滅	消灯
投入ソフト機種間違い	EH	30	EH	点滅	点滅	30	点滅	消灯
スターター系不良	F0	05	F0	点滅	点滅	05	点滅	消灯
室外ファン電源異常	F2	3E	F2	点滅	点滅	3E	点滅	消灯
油圧スイッチ故障	F3	02	F3	点滅	点滅	02	点滅	消灯
冷却水温度センサー断線/ショート	F4	57	F4	点滅	点滅	57	点滅	消灯
吐出温度センサー断線/ショート	F6	53	F6	点滅	点滅	53	点滅	消灯
エンジンルーム温度異常	F7	46	F7	点滅	点滅	46	点滅	消灯
冷媒不足/ミキサー異常	F9	45	F9	点滅	点滅	45	点滅	消灯
コンプレッサオイル冷媒希釈検知	FE	4b	FE	点滅	点滅	4b	点滅	消灯
コンプレッサオイル不足検知※3	FH	4b	FH	点滅	点滅	4b	点滅	消灯
高圧差圧異常	FJ	4C	FJ	点滅	点滅	4C	点滅	消灯
点火系異常	H0	3d	H0	点滅	点滅	3d	点滅	消灯
クラッチ異常	H1	4E	H1	点滅	点滅	4E	点滅	消灯
発電機軽故障※4	H2	2A	H2	点滅	点滅	2A	点滅	消灯

異常内容	室外機		リモコン					
	Dタイプ	Hタイプ	Dタイプ			Hタイプ		
				運転 ランプ	点検 表示		運転 ランプ	点検 表示
発電機軽故障（運転継続中）	H2	2A	H2	点灯	消灯	2A	点灯	点滅※1
発電機中故障/室外機外部停止（自立運転中）	H3	C0	H3	点滅	点滅	C0	点滅	消灯
自立ユニット異常（運転継続）	H3	C0	H3	点灯	消灯	C0	点灯	点滅※2
排気系異常	J1	55	J1	点滅	点滅	55	点滅	消灯
吸入温度センサー断線/ショート	J2	56	J2	点滅	点滅	56	点滅	消灯
外気温度センサー断線/ショート	J3	52	J3	点滅	点滅	52	点滅	消灯
オイル戻し電磁弁不良	J6	58	J6	点滅	点滅	58	点滅	消灯
高圧センサー系異常	J7	51	J7	点滅	点滅	51	点滅	消灯
排気温度センサー断線	J8	59	J8	点滅	点滅	59	点滅	消灯
低圧センサー断線/ショート	J9	5d	J9	点滅	点滅	5d	点滅	消灯
コンプレッサー自動応急運転（運転継続中）	JA	5A	JA	点灯	消灯	消灯	点灯	点滅※1
コンプレッサー自動応急運転	JA	5A	JA	点滅	点滅	5A	点滅	消灯
高メッシュフィルター詰まり検知	JE	41	JE	点滅	点滅	41	点滅	消灯
熱交換温度センサー系異常	JF	C3	JF	点滅	点滅	C3	点滅	消灯
圧力センサー異常	JH	44	JH	点滅	点滅	44	点滅	消灯
オイル温度センサー断線/ショート	JJ	5C	JJ	点滅	点滅	5C	点滅	消灯
エンジン系異常	L1	49	L1	点滅	点滅	49	点滅	消灯
定期点検時期のお知らせ（異常ではありません） 定期点検時期まで200時間以下の場合	L8	37	消灯	点灯 消灯	点灯	消灯	点灯 消灯	点滅※2
定期点検時期のお知らせ（異常ではありません） 定期点検時期を超えた場合	L8	37	L8	点灯 消灯	点灯	消灯	点灯 消灯	点滅※1
カムパルスセンサー断線	LA	3b	LA	点滅	点滅	3b	点滅	消灯
スターターリレー不良	LE	09	LE	点滅	点滅	09	点滅	消灯
室内機接続台数異常	P0	21	P0	点滅	点滅	21	点滅	消灯
室内機合計容量異常	P3	22	P3	点滅	点滅	22	点滅	消灯
停電対応機室外機間通信異常（運転継続中）	U1	27	U1	点灯	点灯	消灯	点灯	点滅※1
停電対応機室外機間通信異常〔自立モード時〕	U1	27	U1	点滅	点滅	消灯	点滅	—
ユニット間通信異常	U3	20	U3	点滅	点滅	20	点滅	消灯
ユニット間通信異常（インバーター通信異常）	U3	20	U3	点灯	点灯	20	点灯	点滅※1
室内機・室外機間伝送異常	U4	25	U4	点滅	点滅	03 25	点滅	消灯
リモコン・室内機間伝送異常	—	—	U5	点滅	点滅	—	—	—
外部制御アダプター異常	—	—	U7	点滅	点滅	—	—	—
主リモコン・従リモコン間伝送異常（従リモコン異常）	—	—	U8	点滅	点滅	—	—	—
他系統通信異常	—	—	U9	点滅	点滅	—	—	—
停電対応設定不良	UA	24	UA	点灯	点灯	消灯	点灯	点滅※1
集中アドレス重複	—	—	UC	点灯	消灯	—	—	—
室内機・集中コントローラー間伝送異常	—	—	UE	点滅	点滅	—	—	—
系統未設定	—	—	UF	点滅	点滅	—	—	—
システム系不良	—	—	UH	点滅	点滅	—	—	—
室内機・外部保護装置異常	—	—	A0	点滅	点滅	—	—	—
室内機・P板ASSY不良 EEPR0M設定不良	—	—	A1	点滅	点滅	—	—	—
室内機・P板ASSY不良	—	—	A1	点灯	消灯	—	—	—
室内機・ドレン水位系異常	—	—	A3	点滅	点滅	—	—	—

快適にお使い
いただくために

④故障かな？と思ったら（つづき）

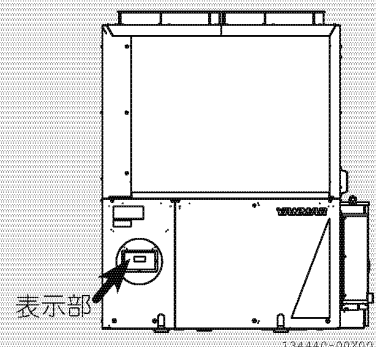
異常内容	室外機		リモコン					
	Dタイプ	Hタイプ	Dタイプ			Hタイプ		
				運転ランプ	点検表示		運転ランプ	点検表示
室内機・ファンロック	—	—	A6	点滅	点滅	—	—	—
室内機・風向調整電動機（MA）異常	—	—	A7	点灯	消灯	—	—	—
室内機・風向調整電動機異常	—	—	A7	点灯	点滅	—	—	—
室内機・電子膨張弁駆動部異常	—	—	A9	点滅	点滅	—	—	—
室内機・異常ドレン	—	—	AF	点灯	消灯	—	—	—
室内機・集塵機異常	—	—	AH	点灯	消灯	—	—	—
室内機・容量設定不良	—	—	AJ	点滅	点滅	—	—	—
室内機・ファンP板/アダプターP板—制御P板伝送異常	—	—	C1	点滅	点滅	—	—	—
室内機・液管用サーミスタ異常（接触不良・断線・短絡・不良）	—	—	C4	点滅	点滅	—	—	—
室内機・ガス管用サーミスタ異常（接触不良・断線・短絡・不良）	—	—	C5	点滅	点滅	—	—	—
室内機・ファンP板—制御P板設定不良	—	—	C6	点滅	点滅	—	—	—
室内機・吸込空気用サーミスタ異常（接触不良・断線・短絡・不良）	—	—	C9	点滅	点滅	—	—	—
室内機・吹出空気用サーミスタ異常（接触不良・断線・短絡・不良）	—	—	CA	点滅	点滅	—	—	—
室内機・人検知・床温度検知センサー異常	—	—	CE	点灯	消灯	—	—	—
室内機・リモコンセンサー異常	—	—	CJ	点灯	消灯	—	—	—
集中コントローラーP板不良	—	—	M1	点灯 消灯	点滅	—	—	—
集中コントローラー間伝送異常	—	—	M8	点灯 消灯	点滅	—	—	—
集中コントローラー組合不良	—	—	MA	点灯 消灯	点滅	—	—	—
集中コントローラーアドレス設定不良	—	—	MC	点灯 消灯	点滅	—	—	—
室内フロートスイッチ作動	—	—	—	—	—	01	点滅	消灯
吸込空気温度サーミスタ異常	—	—	—	—	—	11	点滅	消灯
吹出空気温度サーミスタ異常	—	—	—	—	—	12	点滅	消灯
室内熱交液側サーミスタ異常	—	—	—	—	—	13	点滅	消灯
室内熱交ガス側サーミスタ異常	—	—	—	—	—	14	点滅	消灯
リモートサーミスタ異常（外気処理エアコンで使用）	—	—	—	—	—	16	点滅	消灯
リモコンサーミスタ故障（外気処理エアコンで使用）	—	—	—	—	—	17	点滅	消灯
室内ファンモータープロテクタ異常	—	—	—	—	—	19	点滅	消灯
メンテナンス中アラーム	—	—	—	—	—	29	点滅	消灯
室内機号機設定異常	—	25	—	—	—	35	点滅	消灯
EHP/GHP組み合わせ誤り	—	—	—	—	—	36	点滅	消灯
号機・冷媒系統設定異常	—	—	—	—	—	b1	点滅	消灯

注意：異常内容によっては、リモコンに点検表示なく運転を継続する場合や、リモコンで異常コードをリセットできない場合があります。

異常コードが表示された場合は、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

- ※1. 点検表示が1秒間隔で点滅
- ※2. 点検表示が4秒間隔で点滅
- ※3. FH（オイル不足検知）の異常コードは、機器不具合ではなく設置状況によって発生することがあります。その際は、冷凍機油の追加で解消する場合があります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ※4. 停電中の自立運転時、室外機表示部に「H2-*（Dタイプ）、2A-*（Hタイプ）」の異常コード表示がある場合は、以下の対応を行ってください。
 - ①停電時にご使用になる電気機器を減らしてください。
 - ②少し時間をおいてから、自立操作盤でリセット操作を行い、再度運転を行ってください。
 リセット操作については、自立操作盤表面の操作説明に従ってください。
再度運転を行っても異常コード表示を繰り返す場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

（室外機、正面）



⑤ 定期メンテナンスについて

ガスヒートポンプエアコン（GHP）はガスエンジンを原動力として冷暖房をします。性能を維持し、安全により長くお使いいただくために、定期メンテナンスが必要です。

■ 定期点検について

定期点検について、下表に定期点検項目とその時期を示しています。運転時間は室外機に付いています「アワメータ」に表示されます。

点検整備項目		10,000 hr	20,000 hr
エンジン系	エンジンオイル	○※ 1	●
	エンジンオイルフィルター	●	●
	エアクリーナーエレメント	▽	▽
	点火プラグ	●	●
	バルブクリアランス	▽	▽
	冷却水（含不凍液）	○	○
	排気ドレンフィルター※ 2	○	○
	排気ドレンフィルターパッキン	●	●
駆動系	排気ドレンオイル吸着マット	●	●
	燃料ホース	▽	▽
	Vリブドベルト※ 3	●	●
圧縮機	冷却水ホース	▽	▽
	騒音	▽	▽
室外機	冷媒・コンプレッサーオイル漏れ※ 4	▽	▽
	騒音・振動	▽	▽
インバーター	さび、がたつき、吸音材のはがれ	▽	▽
	端子・カブラの緩み	▽	▽
バッテリー部	ケースのさび、がたつき	▽	▽
	バッテリー	1回／4年交換	
	冷却ファン	▽	▽
	フィルター	1回／4年交換（バッテリー交換と同時に）	

※ 1. 使用状況によっては交換が必要な場合があります。

※ 2. 中和剤が少ない場合は補充し、汚れがひどい場合は洗浄が必要になります。

※ 3. 発電機用も含みます。

※ 4. 圧縮機ドレン部は、ドレン量を点検してください。

快適にお使い
いただくために

ご注意

- 定められた定期点検は必ず受けてください。定期点検を行わないと故障の原因となります。
- ・ 8年間で10,000時間到達しない場合でも、8年以内に点検が必要です。

■ 「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

冷媒フロン類を適切に管理していただくために、全ての機器においてお客さまご自身による簡易点検が義務付けられています。さらに管理する機器の原動機定格出力によっては有資格者による定期点検（有償）も義務付けられています。原動機定格出力については取扱説明書の4章「④室外機の仕様」を参照ください。

対象機器				点検頻度	点検内容
簡易点検	全ての機器			3か月に1回以上	〈お客さま（＝所有者さま）にて実施〉 目視確認による、機器の異音・異常振動、外観の損傷・腐食・さび・油にしみ、熱交換器の霜付、他 詳細は一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会のホームページを ご参照ください。 http://www.jarac.or.jp/
定期点検	空調機器	原動機 定格出力	50kW以上	1年に1回以上	〈有資格者が実施〉 ①目視確認法 ②間接法：機器の運転状況記録などから判断 ③直接法：発泡液による確認 注）蛍光剤使用による確認は、機器に不具合を生じる可能性があるため、当社は使用を了承していません。
		7.5kW以上 50kW未満	3年に1回以上		
	冷凍・冷感機器	原動機 定格出力	7.5kW以上	1年に1回以上	

アフターサービスと定期点検のおすすめ

安全により長くお使いいただくために、定期メンテナンスが必要です。お客さまのご希望によりアフターサービス・点検を専門のサービスマンが実施させていただきます。詳しくはお買い求めの販売店または最寄りのヤンマーエネルギーシステム(株)またはヤンマーひーぽん会サービス店にご相談ください。

⑥安全銘板と取付位置

■ 警告・注意銘板の種類

お買い上げのエアコンにはお使いになる方が安全にお使いいただくため、エアコン本体に安全注意事項を表示した銘板を取り付けています。ご使用の際やお手入れの際は安全のため、注意事項を必ずお守りください。

①ラベル（警告・高温）

	<p>やけどの恐れあり。高温部に触れないこと</p> <p>Don't touch the high-temperature part</p> <p>会引起烧伤 请勿接触高温部分</p>
--	---

②ラベル（注意・踏付）

	<p>けがの恐れあり。上に乗らないこと</p> <p>Danger. Don't step on.</p> <p>会引起受伤 不要在上面踩踏</p>
--	--

③ラベル（警告・回転）

	<p>けがの恐れあり。回転部に触れないこと</p> <p>Don't touch the rotor</p> <p>会引起受伤 请勿接触旋转部</p>
--	---

④ラベル（防火評定）

ご 注 意

1. 本体に表示してあるガス種以外の燃料ガスは使用しないでください。
2. ガス管接続には指定の強化ガスホース（または液化石油ガス継手金具付き低圧ガスホース）を使用してください。
3. 冷媒配管接続後、気密試験を行ない漏れのないことを確認してください。
4. D種接地工事を行ってください。感電の恐れがあります。
5. カバー類は絶対開けないでください。回転体に接触したり、巻き込まれる恐れがあり危険です。
6. 吹出口のファンカバーを絶対に取外さないでください。ファンが露出して危険です。
7. 排気ガスは周囲に影響の無い場所で大気開放してください。排水皿、溝等への排出は中毒の恐れがあります。
8. 排気ドレンは室内縦ドレン配管と一緒にしないでください。そして大気開放された場所に排出してください。排気ガスが室内に入り危険です。
9. 排気ドレンは排水配管の適切な排水確保で配管して排出してください。コンクリート表面を汚したり、シート防水を損傷する恐れがあります。
10. 運転中異常な振動や音があるときは、ただちに運転を停止し、自分で修理せずに、お買い求めの販売店に連絡ください。
11. 排気出口より白い煙が出ることがありますが、これは異常ではありません。
12. 長期間ご使用にならない場合は、万一のガス漏れ防止のためガス元栓を閉じておいてください。ただし、元置源は切らないでください。

ガス機器防火性能評定品 可燃物からの離隔距離 (cm)	
	フロンの燃えつき
一般財団法人 日本ガス機器検査協会 (注) 保守サービスのために必要なスペースは据付要領書を参照のこと	
出荷時冷媒量 KR +	現地追加充てん量 KR =
総冷媒量 KR <small>※冷媒追加充てん量が過剰で圧力配管で配入していただき、/出可冷媒量・形状検査等照 現地追加充てん量・電子台ボックス周辺に配管</small>	

⑤ラベル（警告・高電圧）

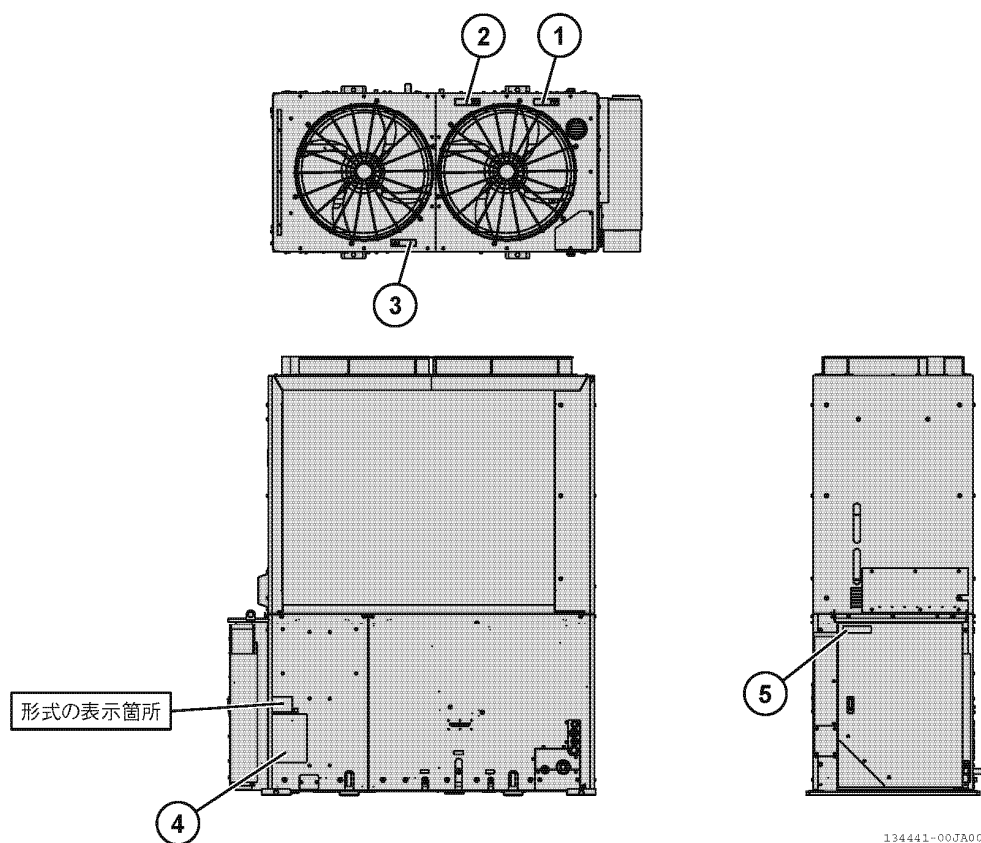
	<p>感電の恐れあり。高電圧部に触れないこと</p> <p>Don't touch the high-voltage part</p> <p>会引起触电 请勿接触高电压部位</p>
--	--

快適にお使い
いただくために

■ 安全銘板の取付位置

室外機

● YBZP560L1 形



快適にお使い
いただくために

MEMO

4

仕 様

①室外機の仕様・・・・・・・・・・・・・・・・	28
②製品保安上の明細・・・・・・・・・・・・	29

① 室外機の仕様

■ 室外機仕様 (YBZP形)

形式				単位	YBZP560L1	
					GHP空調あり	GHP空調なし
空調能力	冷房	定格冷房標準		kW	56.0	
	暖房	定格暖房標準		kW	63.0	
	自立運転時	定格冷房標準		kW	45.0	—
		定格暖房標準		kW	50.0	—
室外機消費電力 (50/60Hz)	冷房	定格冷房標準	(三相)	kW	1.26/1.26	
		定格冷房標準	(単相)	kW	1.26/1.26	
	暖房	定格暖房標準	(三相)	kW	0.568/0.568	
		定格暖房標準	(単相)	kW	0.568/0.568	
電気特性	電源			V	三/単相 200	
	周波数			Hz	50/60	
	始動電流 (エンジン拘束)			A	21	
	運転電流	三相	冷房	A	3.98/3.89	
			暖房	A	2.12/1.95	
		単相	冷房	A	7.94/7.80	
			暖房	A	3.78/3.59	
	力率	三相	冷房	%	91.5/93.4	
			暖房	%	77.3/84.1	
		単相	冷房	%	79.3/80.8	
			暖房	%	75.1/79.0	
	自立出力	定格出力 ※1		kVA	2.3	2.5
		定格電流		A	11.5	12.5
		自己消費		kVA	0.2	0.2
		自立負荷最大容量 ※2		kVA	2.1	2.3
		並列接続台数		台	4	
ガス消費量 (13A, 12A, LPG)	冷房	定格冷房標準		kW	41.9	
	暖房	定格暖房標準		kW	39.7	
	自立時	定格冷房標準		kW	43.5 ※3	—
		定格暖房標準		kW	40.4 ※3	—
原動機定格出力				kW	12.4	
騒音 PWL (音響パワーレベル) (JIS2015)				dB (A)	81	
冷媒	種類			—	R410A	
	封入量 (出荷時)			kg	9.0	
外形寸法	高さ			mm	2280	
	幅			mm	1890	
	奥行			mm	830	
質量	マスター機 (バッテリー搭載)			kg	965	
	サブ機 (バッテリー搭載なし)			kg	900	
室内機条件	接続可能容量範囲			%	50 ~ 100	50 ~ 130
	接続可能台数			台	10	32

(1) 空調能力、電気特性、ガス消費量はJRA 4058条件にて配管相当長10 m、高低差0 m、標準組み合わせ時の能力です。

定格冷房標準：室内側吸込空気温度27℃ DB、19℃ WB、室外側吸込空気温度35℃ DB

定格暖房標準：室内側吸込空気温度20℃ DB、室外側吸込空気温度7℃ DB、6℃ WB

(2) 定格騒音 (音響パワーレベル) は、JIS B 8627：2015条件による値です。

(3) 外形寸法は配管・配線接続部・一部突起部を除いた値です。

(4) 外気温度0℃以下で冷房運転を行う場合は、オプションのエアガードを取り付け願います。

※1 搭載インバーター出力端最大値を示します。

※2 単相200 V時の値を示します。

単相100 V時は0.1 kVA (降圧トランス損失分) を差し引いてください。

※3 自立運転モード時の冷房・暖房のガス消費量は目安であり、JIS B 8627条件で測定した値ではありません。

②製品保安上の明細

- 下表に掲載の製品は、法定冷凍能力5トン以上の製品を含んでおり、高圧ガス保安法に基づき冷媒ガスの圧力を受ける部分の材料、構造を厳守し、圧力試験が実施されています。
- 冷媒ガスの圧力を受ける部分の部品を交換または修理される場合は、資格（高圧ガス保安法およびJRAガイドライン等に定めのある資格）のあるサービス工事店に依頼されるようお願いいたします。
本製品の保安上の明細は下表の通りです。
- 据え付けの際に現地で冷媒配管を施工した設備は、配管施工部分の気密試験を下記の気密試験圧力で実施願います。
新設時4.0MPa、既設配管使用時3.3MPa

項目			機種
			YBZP560L1
法定冷凍トン	トン		6.3
冷媒	—		R410A
許容圧力（高圧／低圧）	MPa		4.0/2.21
高圧遮断装置設定圧力	MPa		4.0
圧縮機	形式	—	スクロール式
	台数	—	2
	許容圧力（高圧／低圧）	MPa	4.0/2.21
熱交換器	形式	—	マイクロチャンネル式
	許容圧力	MPa	4.0
	台数	—	3
	主要部材	—	アルミ合金
ユニット気密試験圧力（高圧／低圧）	MPa		4.0/2.21
製造事業者	—		ヤンマーエネルギーシステム株式会社

仕様

MEMO

5

停電・復電時の運転操作

①停電・復電時の運転操作について……………	32
-----------------------	----

① 停電・復電時の運転操作について

■ 停電・復電時の運転操作

停電時の場合

- 停電時に空調機を運転する場合は、操作盤の自立SWをONにしてください。発電を開始します。
- 空調を運転する場合は、室内機のリモコンをONにしてください。

復電時の場合

- 復電自動停止がON（出荷時設定）の場合は、復電後に自動で通常の運転状態に戻ります。
- 復電自動停止がOFFの場合は、自立運転を継続します。
自立運転を解除する場合は、操作盤の自立SWをOFFにしてください。

● 単機の場合

【復電自動停止がONの場合】

	通常	←	→	停電発生		←	→	停電中		←	→	復電（通常）
商用電源	有			無								有
所要時間	—	—	—	～1分	～2分	～10分	—	—	—	—	—	6～10分
エンジン	運転				運転							運転
室内機その他負荷	電源ON				電源ON							電源ON
空調	空調中							空調中				空調中
自立SW（オプション）	OFF			ON								

【復電自動停止がOFFの場合】

	通常	←	→	停電発生		←	→	停電中		←	→	復電（通常）
商用電源	有			無								有
所要時間	—	—	—	～1分	～2分	～10分	—	—	—	—	—	6～10分
エンジン	運転				運転							運転
室内機その他負荷	電源ON				電源ON							電源ON
空調	空調中							空調中				空調中
自立SW（オプション）	OFF			ON								

※1 復電後は、操作盤の自立SWをOFFにしてください。エンジンが継続して運転し続けます。

●複数機の場合

【復電自動停止がONの場合】

		通常	←	→	停電発生	停電中	←	→	復電（通常）
商用電源		有			無				有
所要時間		—		—	～1分	～2分	～10分	—	6～10分
エンジン	バッテリーあり	運転			運転				運転
	バッテリーなし	運転			運転				運転
室内機その他負荷		電源ON			電源ON				電源ON
空調		空調中			空調中				空調中
自立SW（オプション）		OFF			ON				

【復電自動停止がOFFの場合】

		通常	←	→	停電発生	停電中	←	→	復電（通常）
商用電源		有			無				有
所要時間		—		—	～1分	～2分	～10分	—	6～10分
エンジン	バッテリーあり	運転			運転				運転
	バッテリーなし	運転			運転				運転
室内機その他負荷		電源ON			電源ON				電源ON
空調		空調中			空調中				空調中
自立SW（オプション）		OFF			ON				

※1 復電後は、操作盤の自立SWをOFFにしてください。エンジンが継続して運転し続けます。

ご注意

●自立SWをON後、しばらく冷風または温風が出ない場合がありますが、異常ではありません。

停電・復電時の
運転操作

MEMO

6

自立負荷の選定

①自立負荷の選定について.....	36
-------------------	----

①自立負荷の選定について

本製品は、停電時空調およびTV、照明、携帯充電機等に使用する目的に設計・製造されています。また、本製品は自立運転時に停電が解消した場合、自動的に運転を停止します。生命や財産が損害を受ける恐れがある電気機器は接続しないでください。接続できる機器については、下記をご参照ください。

【接続してはいけない電気機器（例）】

本機器を下記のような高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないでください。

接続された場合は、2次保証できません。

- 人命に関わるすべての医療機器やシステム
- 人身の安全に直接関連する用途に用いる機器（例：車両、エレベーターなど）
- 社会的に重大な損害を与える可能性のある用途に用いる機器（例：コンピューターシステムなど）
- 灯油やガスを用いた暖房機器
- 食品類を扱う機器（例：炊飯器、電子レンジ、電磁調理器、冷蔵庫など）
- 必要発電量の合計が発電定格出力値を超えるような機器の接続
- その他、電源が切れると生命や財産に損害を与える可能性がある機器（例：電子レジスターなど）
- 上記に準じる機器

【接続できる電気機器】

- 照明機器（白熱灯、ラピッド式・インバーター式の蛍光灯、LED灯）
- テレビ（液晶式・プラズマ式・ブラウン管式）
- パソコン^{※1}
- その他（携帯充電器、扇風機、電気ポット、電気ストーブ）

注）下表の表示比を目安に、使用される機器の表示消費電力から必要発電電力を算出し、室外機の発電定格出力以下になるよう負荷容量を決定してください。なお、接続負荷特性は、実際の接続負荷特性を必ずご確認ください。

※1 電源が遮断した場合のデータ等の2次保証はできません。

各種電気機器が必要とする電力比一覧（弊社調べ）

電気機器	表示消費電力（W）	必要発電電力（VA）	表示比（目安）
白熱灯	90	90	100%
蛍光灯（インバーター）	32	48	150%
蛍光灯（LED）	24	56	235%
TV	330	396	120%
パソコン	90	180	200%
携帯電話の充電器	5	5	100%
電気ポット	900	900	100%
扇風機	50	50	100%
電気ストーブ	900	900	100%

MEMO

● 冷媒漏えい点検記録簿

[illegible]

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客さまに、製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、定期的な冷媒漏えい点検をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでの全ての点検記録が記載されますので、お客さまによる記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。

* JRA：社団法人 日本冷凍空調工業会

- ・ JRA GL-14について、<http://www.jraia.or.jp/index.html>
- ・ フロン漏えい点検制度について、https://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

冷媒漏えい点検・整備記録簿の例

※記録簿は、日設連・日冷工のホームページからダウンロードできます。

MEMO

● 冷媒充てん量の記載

室外機に設置時の冷媒充てん量を記載しています。

室外機内部 背面

ご 注 意

- 本体に表示してあるガス種以外の燃料ガスは使用しないでください。
- ガス管接続には指定の強化ガスホース（または強化石油ガス継手金具付き低圧ガスホース）を使用してください。
- 冷暖配管接続後、気密試験を行ない漏れのないことを確認してください。
- D種接地工事を行ってください。感電の恐れがあります。
- カバー類は絶対開けないでください。回転体に接触したり、巻き込まれる恐れがあります。
- 吹出口のファンカバーを絶対に取外さないでください。ファンが露出して危険です。
- 排気ガスは周囲に影響の無い場所で大気開放してください。排水槽、溝等への排出は中毒の恐れがあります。
- 排気ドレンは室内機ドレン配管と一緒にしないでください。そして大気開放された場所に排出してください。排気ガスが室内に入り危険です。
- 排気ドレンは雑排水溝等の適切な排水溝まで配管して排出してください。コンクリート表面を汚したり、シート防水を損傷する恐れがあります。
- 運転中異常な振動や音があるときは、ただちに運転を停止し、自分で修理せず、お買い求めの販売店に連絡ください。
- 排気出口より白い煙が出る場合がありますが、これは異常ではありません。
- 長期間ご使用にならない場合は、万一のガス漏れ防止のためガス元栓を閉じておいてください。ただし、元電源は切らないでください。

ガス機器防火性能評定品

可燃物からの距離距離 (cm)

一般財団法人 日本ガス機器検査協会
(注)保守サービスなどに必要なスペースは据付要領書を参照のこと

フロン排出抑制法 第一種特定製品

法にもとづき、フロン類は、みだりに大気中に漏らしてはいけません。
・廃棄・整備時に回収業者へ依頼が必要
・未回収の機器を引渡してはいけません

種別	冷媒番号	GWP
HFC	R410A	2090

フロン類の見える製品

出庫時冷媒量 現地追加充てん量 総冷媒量

kg + kg = kg

※冷媒追加充てん量が過剰で入って記入していただく。出庫時冷媒量…型式銘牌参照 現地追加充てん量…端子台ボックス周辺に記載

連絡配管への冷媒追加充てん量の算出方法

アフターサービスに必要です。
下記空欄に追加充てん量と配管長を記入してください。

追加充てん量	冷管サイズφ22.2の合計長さ	冷管サイズφ19.1の合計長さ	冷管サイズφ15.9の合計長さ	冷管サイズφ12.7の合計長さ	冷管サイズφ9.5の合計長さ	冷管サイズφ6.4の合計長さ	機種別追加充てん量 (注3)																				
kg	(m) × 0.35	(m) × 0.25	(m) × 0.17	(m) × 0.11	(m) × 0.054	(m) × 0.022	<table border="1" style="font-size: x-small;"> <tr> <th>機種</th> <th>Y*Y</th> <th>Y*Z</th> <th>Y*C</th> </tr> <tr> <td>850</td> <td>6.0</td> <td>8.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>710</td> <td>4.5</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>560</td> <td>1.5</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>450</td> <td>0</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> </table>	機種	Y*Y	Y*Z	Y*C	850	6.0	8.0		710	4.5	6.5		560	1.5	4.5		450	0	3.5	
機種	Y*Y	Y*Z	Y*C																								
850	6.0	8.0																									
710	4.5	6.5																									
560	1.5	4.5																									
450	0	3.5																									

注1) 追加充てん量の算出は、0.1kg単位で四捨五入してください。 注2) 追加充てん量(連絡配管追加+機種別追加充てん量)の±5%以内にて記入してください。 注3) このモデル機の場合は各室外機の機種別追加充てん量の合計量としてください。

134442-00JA00

MEMO

MEMO

MEMO

(お問い合わせや修理依頼のときの
ために記入しておいてください。)

室外機形式		
室外機製造番号		
引き渡し年月日		
施工業者名		
販売店	名称	
	担当者	
	電話番号	
	FAX番号	



ヤンマーエネルギーシステム株式会社

(本 社) 〒660-0811 兵庫県尼崎市常光寺1-1-4 YANMAR SYNERGY SQUARE
電話(06)7636-2101 FAX.(06)7739-8071

札幌支店 〒004-0004 北海道札幌市厚別区厚別東四条4丁目8-1
電話(011)809-2200 FAX.(011)809-2201

仙台支店 〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野3丁目1-5
電話(022)258-7379 FAX.(022)258-8890
(青森営業所) 〒030-0901 青森県青森市港町2丁目5-12
電話(017)743-1111 FAX.(017)743-1116
(盛岡営業所) 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田5地割45-1
電話(019)632-1687 FAX.(019)638-8781
(秋田営業所) 〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目9番25号 山王SEビル4階
電話(018)896-5526 FAX.(018)896-5610

東京支社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-1-1 YANMAR TOKYO
電話(03)6733-4231 FAX.(03)6733-4232

名古屋支店 〒461-0005 愛知県名古屋市中区東桜2丁目13-30 NTPプラザ東新町8F
電話(052)979-5213 FAX.(052)937-4883

金沢支店 〒920-0365 石川県金沢市神野町東70
電話(076)240-0715 FAX.(076)240-0714

大阪支社 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1丁目3-30 KDIビル3F
電話(06)4960-8123 FAX.(06)4960-8125

広島支店 〒732-0827 広島県広島市南区稻荷町4-1
広島稲荷町NKビル12階
電話(082)923-4476 FAX.(082)263-8872

高松支店 〒769-0101 香川県高松市国分寺町新居508-2
電話(087)874-9115 FAX.(087)874-9120

福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目2-5
紙与博多ビル3F
電話(092)441-0556 FAX.(092)473-0667
(南九州営業所) 〒891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町4-31
電話(099)210-0666 FAX.(099)269-6088

沖縄支店 〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7丁目11-12
電話(098)898-3127 FAX.(098)898-3156

ヤンマー沖縄株式会社

(本 社) 〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7丁目11-12
電話(098)898-8076 FAX.(098)898-8082

2023年3月1日現在 AA06



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたを
をすると、事故を引き起こすおそれがあります。お読みになった後も必ず製品の近くに保存してください。

ヤンマーエネルギーシステム株式会社

yanmar.com

0AGHP-JA0482
GL026